

消費者月間統一テーマ

1. テーマ

見える情報 見えない仕組み～AI時代の消費者力を高めるために～

2. 趣旨

デジタル化の進展に伴い、AIなどに使われるアルゴリズムが発展するなど、インターネット上で消費者の選好を踏まえて情報が提供される「仕組み」も変化しており、消費者は商品やサービスに関する情報を容易に入手できるようになりました。

消費者がデジタルの利便性を最大限に享受しつつ、安全・安心な消費生活を営むためには、アルゴリズムが情報を届ける仕組みやリスクを理解するなど、デジタル社会に必要なリテラシーを高めることは重要です。

今回の月間を通じて、デジタル技術の利活用や情報提供の仕組みに関する基本的な知識を得て、消費者力を高めていきましょう。

その結果、消費者一人一人の選択が「より納得感の高いもの」や、様々な社会課題の解決につながる「エシカルなもの」になっていくと、今よりも明るい消費者の未来につながると考えられます。

そこで、令和8年度の消費者月間においては、「見える情報 見えない仕組み～AI時代の消費者力を高めるために～」を統一テーマに掲げ、集中的な周知啓発を実施していきます。

過去の消費者月間統一テーマ一覧

年 度	統一テーマ
昭和 63 年	「消費者の主体性の確立を目指して」
平成元年	「豊かな生活を創る」
平成 2 年	「明日の生活文化の創造」
平成 3 年	「ゆとり、安心、多様性のある生活をめざして」
平成 4 年	「地球を見つめた暮らし」
平成 5 年	「くらしの安全、心のゆとり」
平成 6 年	「かしこい選択、ゆたかな生活－新時代の消費者像を求めて－」
平成 7 年	「確かな選択、ひろがるくらし」
平成 8 年	「活かそう情報、暮らしの中へ」
平成 9 年	「ともに創ろう 明日の暮らし－規制緩和と自己責任－」
平成 10 年	「学び、考え、行動する－ともに築こうくらしのルール－」
平成 11 年	「たしかな情報 カしこい選択－ともに創ろう新時代－」
平成 12 年	「考えよう みんなが結ぶ契約」
平成 13 年	「新世紀をかしこく生きる ～活用しよう消費者契約法～」
平成 14 年	「安全・安心に暮らせる社会をめざして」
平成 15 年	「みんなで考えよう くらしとルール」
平成 16 年	「しっかり選ぼう 消費者の知恵で」
平成 17 年	「活かそう権利 めざそう自立」
平成 18 年	「知恵と勇気で 消費者被害を防ごう」
平成 19 年	「みんなで築こう 身近な安全・安心」
平成 20 年	「活かそう 消費者・生活者の視点」
平成 21 年	「消費者新時代 消費者が主役」
平成 22 年	「守ろうよ、みんなを！ ～なくそう！高齢者の消費者被害～」
平成 23 年	「地域で広げよう 消費者の安全・安心」
平成 24 年	「安全・安心 いま新たなステージへ」
平成 25 年	「学ぶことからはじめよう ～自立した消費者に向けて～」
平成 26 年	「つながろう消費者 ～安全・安心なくらしのために～」
平成 27 年	「みんなでつくろう！ 消費者が主役の社会！！」
平成 28 年	「みんなの強みを活かせ ～安全・安心な社会に一億総活躍」
平成 29 年	「行動しよう 消費者の未来へ」
平成 30 年	「ともに築こう 豊かな消費社会 ～誰一人取り残さない～」
平成 31 年	「ともに築こう 豊かな消費社会 ～誰一人取り残さない2019～」
令和 2 年	「豊かな未来へ ～『もったいない』から始めよう！～」
令和 3 年	「“消費”で築く新しい日常」
令和 4 年	「考え方！大人になるとできること、気を付けること ～18歳から大人に～」
令和 5 年	「デジタルで快適、消費生活術 ～デジタル社会の進展と消費者のくらし～」
令和 6 年	「デジタル時代に求められる消費者力とは」
令和 7 年	「明日の地球を救うため、消費者にできること グリーン志向消費 ～どのグリーンにする？～」